

# 第 8 章

電気・ガス・上下水道

## 第 8 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成 22 年度における電灯需要の契約口数をみると、511 万 9022 口にのぼり、前年度の 509 万 6230 口に比べ 0.4%(2 万 2792 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 440 万 8610 口(前年度比 0.3%増)となっている。また、使用電力量は 2153 万 6324MWh で、前年度に比べ 6.8%の増加となり、1 口当たりの年間使用量は 4207kWh(前年度比 0.6%増)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 41 万 3916 口で、前年度に比べ 2.0%の減少となった。使用電力量は 25 億 8300 万 5 千 kWh となっている。

### ガス

平成 22 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 59 億 7133 万 m<sup>3</sup> で、前年度の 57 億 3013 万 m<sup>3</sup> に比べ 4.2%の増加となった。

また、消費量は 38 億 7368 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 2.9%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 17 億 4156 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 3.5%の増加となり、商業用が 5 億 5594 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 2.4%の増加、公用が 1 億 6655 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 7.0%の増加、医療用が 1 億 7683 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 6.1%の増加となり、家庭用が 12 億 3281 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.2%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 396 万 5259 戸で、前年度に比べ 0.4%の増加となっている。

### 上下水道

・上水道 平成 22 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 11 億 6278 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.2%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 4436 万 m<sup>3</sup> で、全体の 38.2%を占めている。

栓数は 329 万 2496 件で、前年度に比べ 2.1%の増加となっている。

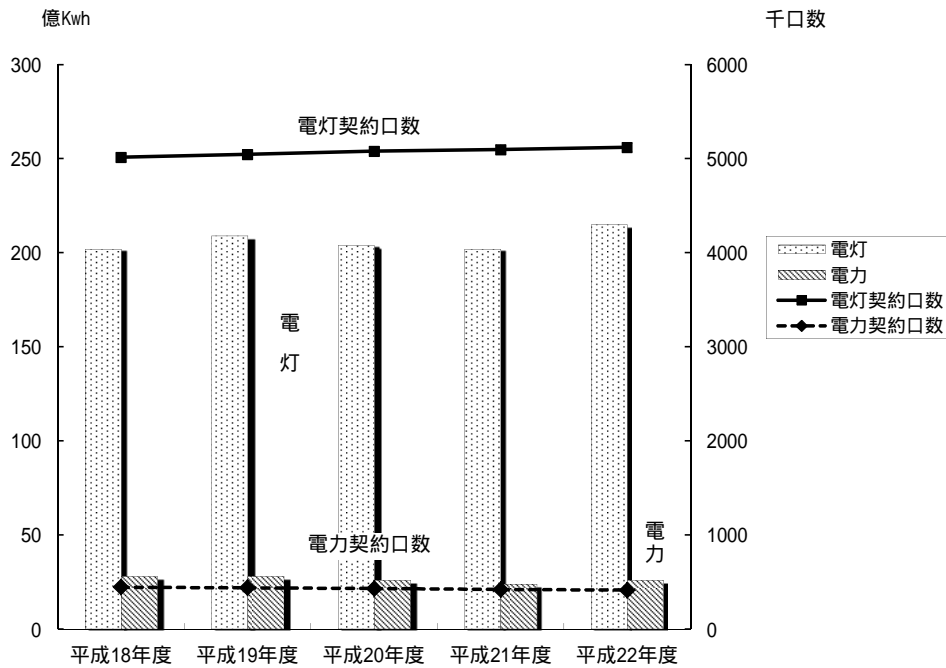
また、1 人 1 日平均給水量は 328 で、前年度に比べ 0.6%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 450 で、以下、泉佐野市の 410 、岬町の 383 の順となっている。

工業用水の使用状況を見ると、1 日当たりの総使用量は、前年比 4.0%増の 586 万 0637m<sup>3</sup> となっている。

このうち、淡水の使用量は 506 万 9423m<sup>3</sup> で、前年に比べ 8.6%の増加となっており、全体の 86.5%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 89.0%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 38.5%、鉄鋼が 23.3%、化学が 21.9%と、この 3 業種で回収水全体の 83.7%を占めている。

・下水道 府内における平成 22 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 94.3%で、前年度より 0.6 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100%で、全域に普及している。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成22年度)

